

2年福祉保育コース チャレンジプロジェクト

令和4年7月21日（木）4時間目

高齢分野 出前講座

医療法人慈仁会 介護老人保健施設くじらヶ丘

介護支援専門員 相浦 幸江 様

介護老人保健施設は、病院と自宅の間の中間施設といわれ、施設を利用する方の目的や事情は様々であり、働く職員も介護職員をメインに、様々な職種が働いている現場であることを学びました。

より良い介護を実践するには、「今できること、工夫すればできること」を見極め、介護老人保健施設でのリハビリを通し、例えば「足の調子が良くなれば、日常生活がより良くなるかもしれない」との視点を持ち、目標設定し、多職種連携、社会資源の調整を行っていくことが大切であることを学びました。これは、保育の現場でも共通するというのも強調してくださりました。相浦様や同席くださった北辻様から、同施設で働くまでの経緯についてお聞きすることができ、生徒の進路に繋がる話を伺うことができました。特に、仕事上「人生の大先輩に関わらせていただいている」「やるとき（勉強する時）は本気、遊ぶときは本気、メリハリを大事にすること」とのお話は、生徒にとって、とても印象に残るお話でした。講座後に、同施設を就職先の候補として検討している3年生の生徒に直接会ってくださり、職場での人間関係や資格取得について等の質問に親身に答えてくださりました。

ご指導、ありがとうございました。

